

そげっぱ通信

1月



●あなたと市民センターをつなぐ情報紙

曾慶市民センター
曾慶字神蔭32-1
☎ 0191-75-2244
FAX 0191-34-6630
Email: info@yuin
et-sogei.com



新年おめでとう うざいます

結いネットそげい会長 足利徳夫
曾慶地区の皆様、新年おめでと
うございます。例年にない穏やか
な気候の年明けとなりましたが、
元日早々に能登半島地震のニユー
スを目の当たりにし、忘れかけて
いた災害への備えを思い出し、身
が引き締まる思いをしたところで
す。被災された皆様と関係者の皆
様には心よりお見舞いを申し上げ
たいと存じます。

さて、思いもかけない新型コロナ
ナの感染拡大により、令和2年か
ら4年にかけてさまざまな地域活

動が中止となったり制限されるな
ど厳しい状況が続き、このままで
は地域の活気が失われてしまうの
では…と不安な日々を過ごしてい
ましたが、新型コロナの感染症法
上の位置づけが2類から5類に移
行したことをきっかけに、当地区
においても手探りではありまし
たが、「そげい夏まつり」や「曾慶地
区芸能祭」が4年ぶりに復活し、
1月6日には地区新年交賀会を開
催することができました。また、
昨年末には、若い皆さんで結成す
る「わぎやすたー」が「クリス
マスイベント」を実施し、地区セ
ンターの多目的ホールに地区内の
ほとんどの子どもたちが集まり、
楽しい思い出作りができたよう
です。今後の活動にも期待をして
いるところでございます。

結いネットそげい 設立から10年が経過

早いもので「結いネットそげい」
も令和6年度で設立から10年、
第2期地域づくり計画の最終年度
を迎えます。当時から少子化、高
齢化も一段と進み、10年前とは

まったく違う状況が訪れていま
す。第3期の計画策定に当たり、
地域の皆様からご意見をいた
さながら、新たな課題の抽出と
対策を導き出して計画に反映さ
せるとともに、組織の見直しも
必要になってくるものと考えます。

また、令和4年度より市民センタ
ー等の指定管理を受託し、市のご指導
をいただきながら、適切な施設管理
と事業運営を目指し努めてまいり
ました。新年度は指定管理3年目にな
りますので、地区の皆様と共に「心
も景色も美しく住み続けたい私たち
の曾慶」を目指し、より住民目線に
立った特色ある地域づくりを進めて
まいりたいと存じますので、皆様の
さらなるご指導ご鞭撻をお願い申し
上げます。

最後に、地区の皆様のご健勝と、
本年が穏やかでよりよい年になりま
すようご祈念申し上げます、新年のあい
さつといたします。



和気あいあいと 4年ぶりに新年交賀会を開催

新型コロナ感染拡大
を受け開催を見合わせ
ていた曾慶地区新年交
賀会が曾慶地区センタ
ーを会場に4年ぶりに
開催されました。地域
住民や来賓の皆さんが
新年の抱負等を語り合
い、和やかに懇談しま
した。



← 彩史会曾慶教室による祝舞
と曾慶民謡会による余興

↑ 50名を超える皆さん
が和やかに懇談しました

子どもたちが平和について学ぶ

学びの土曜塾「冬休み編」が12月26日に済民市民センターを会場に行われ、曾慶地区からは3名の子どもたちが参加しました。『平和ってなんだろう？～昔の青い目の人形のお話～』をテーマに学芸員の小味さんのお話を聞きました。

「芦東山かるた」の後の工作ではビニールを使った『凧』を作り、外で凧あげをしました。とても天気がよく、あまり風が吹かない日だったのでうまく凧あげが出来るか心配でしたが、80m近くあげた子供もおり、初めての体験に歓声が上がっていました。



「芦東山かるた」を楽しむ子どもたち

ポールを使って楽しく運動



参加者全員で「はい、ポール！」

1月12日、曾慶地区センターを会場に「楽しい軽体操&ポールを使ったウォーキング教室」を開催しました。30代から80代までの14名の参加者は、講師を務めた健康運動指導士の佐藤恵先生からポールを使った効果的なウォーキングの仕方やストレッチ、筋膜剥がしなどポールを使った運動の指導を受けました。実技では、最初に歩幅測定を行い、その後に3つのグループに分かれて実際にポールを使い歩きました。その後歩幅測定をしたところ、全員の歩幅が大きくなっていて、効果を実感しました。

どんと祭で無病息災を祈願



正月飾り等が積み上げられ、宮司さんによる焚き上げ前の祈禱が行われました

1月14日、曾慶地区センター東側駐車場で曾慶地区どんと祭が開催されました。各地区でどんと祭の継続が難しくなり中止されてきている中、曾慶地区では新たに実行委員会の体制を立て直しての開催となりました。今回は他地区からの人も含め昨年よりも多くの方が訪れ、1年間お世話になった注連飾りやお札等の焚き上げを見守りながら今年1年の無病息災を祈りました。どんと祭来場者には実行委員会から甘酒と産土(うぶすな)三社(熊野神社・羽黒神社・山神社)の祈禱神札が配られました。

音楽を聴きながら会話を楽しむ



音楽を聴きながら会話に花を咲かせました

音楽を聴きながらコーヒーやおしゃべりを楽しむ「音楽喫茶・結(ゆい)」が12月から曾慶地区センターの研修室で開店しました。第2回目となった1月13日は地区内外から11人が参加。店長が淹れたコーヒーや各自持ち寄ったお菓子等をいただきながら、会話に花を咲かせていました。音楽喫茶は世代や地域を越えた人たちの交流と癒しの場として、当面土曜日の午後2時から、月1回ほどのペースで開店します。来月は2月3日に開店する予定です。毎回前半は選曲テーマ(2月はイージー・リスニングの世界)を設け、後半はリクエスト&おしゃべりタイムの予定です。

熊谷昭穂さんが“美の壺”で紹介

暮らしの中に隠れたさまざまな美を紹介するNHK・BSの美術番組「美の壺」の中で、「東北の手仕事」をテーマに曾慶4区の熊谷昭穂さんが紹介されます。東北地方に古くから伝わる「紙切り（オカザリ）」を制作できる人は年々少なくなり、熊谷さんはその貴重な1人です。

- ◆放送日：3月6日（水）19:30～19:59
※再放送：3月13日（水）8:00～8:29
- ◆放送チャンネル…NHK-BSP

NHKの取材を受ける熊谷さん（1月8日）



曾慶体協よりお知らせ

冬の大船渡路を駆け抜ける

1月7日(日)に大船渡市で開催された大船渡新春ロードレース大会の10マイル(約16km)駅伝に「そげいチーム」が5年ぶりに参加し好成績を残しました。参加者の平均年齢は59.3歳にもかかわらず、結果は1時間12分04秒で75チーム中43位でゴールイン。全く年齢を感じさせない素晴らしいレースで、また来年の活躍を誓い合いました。出場した選手は次のとおりです。

- ▷1走 足利浩昭(4区) ▷2走 金野伸(旧姓佐藤・渋民)
- ▷3走 内村直也(6区) ▷4走 佐藤清文(2区)



写真提供：(株)東海新報社

バドミントン大会 参加者募集

- ◆日時…2月4日(日)午後1時30分開始
- ◆会場…曾慶体育館
冬期間の体力作りにいかがですか？
豪華な参加賞を用意して、多くの皆さんの参加をお待ちしています。

成人講座



健康で豊かなセカンドライフを

令和5年の成人講座として、ヒューマン・サポート・カキョウを主宰する鹿郷健二先生による講演会「生涯現役、天職探しと実践」を開催します。鹿郷先生は、平成24年に曾慶公民館が開催した「家系図作成講座」で講師を務められました。33年間のサラリーマン生活を退職後、経験と知識を活かしてさまざまな活動を実践されている鹿郷先生のお話を聞いて、新しい生きがい探しをしてみませんか。



- ◆講師：ヒューマンサポート・カキョウ 鹿郷健二さん
- ◆日程：2月15日(木)午後1時30分～3時
- ◆会場：曾慶地区センター 多目的ホール
- ◆定員：50名 ◆参加費：無料
※ 参加希望の方は曾慶市民センターまでお申し込み下さい。

「そげいのひなまつり」を開催



恒例となった「そげいのひな祭り」は曾慶の三大祭りのひとつ。今年で第10回を数えます。曾慶の女性たちが一針一針思いを込めて縫った吊るし雛や干支のぬいぐるみ等の作品はとても見応えがあります。

- ◆期日：3月1日(金)～3日(日)
いずれも午前9時30分～午後3時まで公開
- ◆会場：曾慶地区センター ◆入場無料
- ◆主催：手まりの会 / 共催：曾慶市民センター
※ 今回も期間中、あんこたっぷり「大判焼き屋」さんが出店します。

《ひなまつり協賛開催 地域づくり講演会》

「言葉で伝えることの大切さ」

- ◆講師…フリーアナウンサー 河合純子さん
- ◆日時…3月2日(土)午後1時30分～
- ◆会場…曾慶地区センター多目的ホール

今回の地域づくり講演会はフリー・アナウンサー、イベント司会等でご活躍の河合純子さんです。ラジオ等から流れる温かく耳なじみのいい声でファンも多いはず。ひな祭りをご覧になりながら、ぜひご来場ください。



そげいびと

②0 菊池ともこさん(62) ～曾慶字葉ノ木～



木彫り「そげっば」
着せ替えて玄関を彩る

曾慶市民センターの玄関に置いてある木彫りのそげっばの衣装が季節毎に変わっていることにお気づきでしょうか。この衣装の制作者がともこさんです。なんとほぼ毎月着せ替えを行っています。なんとほほ毎月着せ替えを行っています。

そげっばの装束を手がけたのは、指定管理前に前所長が行っていたそげっばの飾り付けを引き継いだこと。結いネットそげいではPRチームの一員なので、そげっばのお世話は願ってもないことだったそうです。

東山町出身のともこさんは小さい頃から手芸を習っていた7歳年上のお姉さんを見て針仕事を覚えたと言います。千厩の片倉製糸で住み込みで2交代で働きながら千厩農業高校を卒業。学校からの推薦もあり、東京にある短

大の夜学部に進学しましたが、同校の事務職に採用されるという幸運も。「私はいつも流れに乗っているだけ」と話しますが、「一度だけ授業の進め方に疑問を感じ授業をボイコットしたこともあった」と強い信念と行動力も見せまします。卒業し故郷に帰ってからは程なくして縁談があり、21歳の若さで曾慶に嫁いだともこさんは、3男2女の5人の子宝に恵まれました。2人の娘さん方には5人の孫さんがいます。

私の回りには いつもいい人たちがばかり

ともこさんには2つの夢があります。数年前から大東中学校で家庭科実習のボランティアを行っています。もう一つの夢は本に囲まれた生活。8年前に新築した自宅には夫の辰雄さんが大工の腕を振るった作り付けの大きな本棚があります。二つの夢が叶ったこともあり「今は幸せ。回りの人がいい人ばかりだから尚更」とにっこり。5年前から「手まりの会」にも属し、手芸仲間の輪も広がりました。

いつも笑顔で明るいとともこさんですが、長い間には乳がんが見つかり治療したことも。去年で10年が経過し、「もう大丈夫」と安堵します。最近、整理収納アドバイザーの資格も取得。今後は「地域の風習や行事とか、年配の人たちから教わりたいことがいっぱい」と新たな目標もできたようです。

曾慶の人口と世帯数

令和6年1月1日現在

行政区	世帯数	男	女	合計
1区	28	35	26	61
2区	68	92	90	182
3区	53	70	77	147
4区	49	66	73	139
5区	66	79	70	149
6区	40	60	55	115
7区	31	41	42	83
13区	33	49	40	89
こはぎ荘	46	17	29	46
合計	414	509	502	1011
前月比	2	Δ1	1	0



曾慶百景 角地かくち

県道江刺・室根線を北進すると、大原境までの西側が角地となっています。傾斜地に16軒ほどの民家が点在し、南東方向を見ると室根山が大きく望めます。

「角地」の語源は「垣の内」の略と云われ、豪族や草分百姓（代々庄屋職を継ぐ村の統治者）等が土地を切り開いた時に占有を示した垣の内側と解されます。この地を治めていた曾皆が住んでいたとされる惣ケ屋敷に隣接しているため、この意味もうなずけます。